

ちばZOO

どうぶつこえんニュース



アジアゾウ:アイ(メス)

アイちゃんの誕生日会～4/13(日)～

今回は、「動物へのプレゼント」についてご紹介します。バナナやリンゴなどのフルーツを想像する方が多いのでは?当園では、健康管理を目的とした日常のトレーニング時や誕生日などのイベント時にご褒美やプレゼントをあげていますが、アジアゾウ(♀アイ)へのプレゼントは少し違います。アイは偏食家で、草が大好きです。ニンジンが嫌いで、時にはリンゴも残してしまいます。目新しい食べ物は好んで食べてくれないので、誕生日のケーキ作りも困ってしまいます。極力、見栄えを良くしたいので、生の牧草や干草など草をメインに、彩り

も考慮してフルーツを使用した“牧草のミルフィーユ”を作ります。

今年も、4月13日にアイの誕生日会を行います。どんなハプニングが発生するのか?気に入って食べてくれるのか?乞うご期待!
(飼育第2係 中村彰宏)

4月28日(月)
入園無料
開園記念日





Director's Eye

けい おう かい らい
『継 往 開 来』

いよいよ春爛漫。過ぎしやすく、年度の始まりでもあり、新鮮で夢のある時期です。この園も4月からは動物及び動物園の専門家である新園長のもと、現在作成中の「千葉市動物公園リスタート構想」の実践が始まります。「市民に身近な動物園(私たちの動物園)」としての存在と「都市の活性化につなげる集客観光施設」として再生を図ることを基本理念と



したこの構想、ゾーニングも施設設備も新たなコンセプトのもと園をイノベーションしていきます。特徴ある動

物展示の実現、教育・普及活動の充実、国際的動物園への脱皮、集客力の向上、持続可能な運営体制の構築を目標に長期にわたり取り組んでいきます。最終的には、今と全く異なる形態に変化していきますが、中途中途でも、常に新しい試みを実践していきますので、どうかお楽しみに。開園から約30年が経過した当園ですが、継往開来の心意気で、これまでの歴史を継承しながら将来を開拓し、賑わいと活気を創出しながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

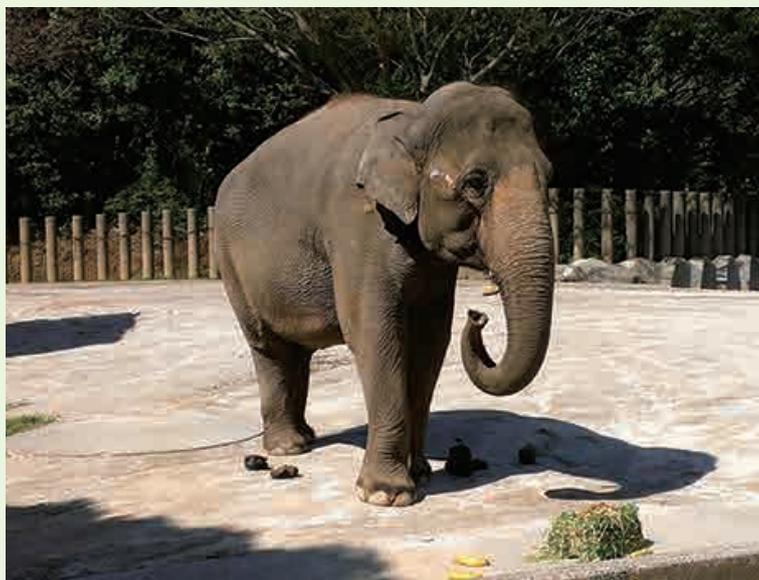
(園長 朝生智明)



『ゾウのアイちゃん』

アジアゾウのメス「アイ」は、1987年12月に4才で、ミャンマーより来園しました。穏やかな性格で、とても人なつっこいところがありますが、少し臆病なところもあります。来園当初に比べると落ち着いてきていますので、現在は、飼育係と一緒に毎日のトレーニングを頑張っています。その内容については、ページをめくってからのお楽しみです。担当飼育係が知っているエピソードを一つ、部屋に入る時は、必ずお尻から入ってきます。理由は未だに分かりませんが、とても不思議なところもある「アイ」ちゃんです。

(飼育第2係 千葉茂)



アジアゾウ:アイ(メス)



F O C U S

『Chiba Cross School Science Festival Vol.1』

動物園は、博物館の1種であり、「教育」についても果たすべき役割を担っています。したがって、市内の博物館との共同連携事業や学校との連携に努めています。今回は、そうした事業の中から、千葉市立千葉高等学校のSSH(Super Science High School)との連携事業を紹介します。

SSHは、将来の国際的な科学技術関係の人材を育成するため、先進的な理科教育を実施する高校として、千葉市内では千葉市立千葉高等学校が平成24年度から28年度まで、文部科学省の研究指定校になっています。

「将来は科学者を目指したい」「科学を学び続けたい」という科学者の芽を育てる場として、動物公園を活用していただいています。

指定2年目の今年は、放射線医学総合研究所での研修や、千葉大学第7回高校生理科研究発表会への参加のほか、当園をステージとして、野生動物の特徴や生態研究の成果を来園者に自作のパネルを見せながら動物ガイドを行うなど、多彩な活動を展開しています。また、初の試みとして「Chiba Cross School Science Festival Vol.1」と題して、11月24日(日)に動物科学館で、小学校25校、中学校7校、高校4校の140名が参加し、総数74点の科学に関する研究作品のポスターセッションが連携事業として行われました。

(飼育課長 高木淳子)



『花のボランティア HANA+』

園内のあちらこちらに植えられた季節の花々にお気づきですか？中でも、子ども動物園の花壇などは、ボランティアグループ HANA+ (はなぷらす) が苗の用意からデザインや管理まで行っています。

HANA+ は、動物公園に花をプラスしてご来園の皆さんに楽しんでいただこうと集まった、草花大好きな市民の皆さんです。

平成24年に会を結成、子ども動物園の花壇管理から始めて、エビネ花壇やレストラン横の芝生広場花壇を整備し、動物科学館前プランター設置と活動の場を広げました。

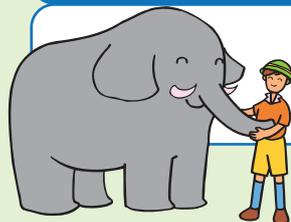
これからも、皆様方に季節を感じていただけるよう花壇を充実させていくとのこと。青い帽子が目印です。園内で見かけたら、お気軽にお声かけください。メンバーも募集しています。ご希望の方は動物公園管理課まで。

(施設係 国岡美佳)



ただいま、トレ

ターゲットトレーニングとは？

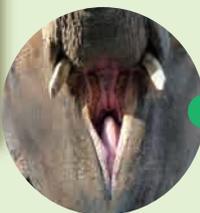


担当者の号令により、ゾウに指示を出した部分(足や耳など)をターゲット棒(目標)で触れさせる。このトレーニングは飼育員が防護柵の中にながら、ゾウの健康管理を安全、かつ正しく行うことができ、ゾウとの信頼関係を深めます。



鼻(号令:サキ)

ターゲット棒を鼻の上に高くあげ、鼻先で軽く触らせるようにします。鼻が上がることによって、歯や牙などの口の状態を確認します。



ターゲット棒



竹製で室内で使用するのは長さ60~100cm、屋外で使用するものは2~3mあります。先端に赤いテープを巻き、これを目標物としてゾウに指示を出した部分を触らせます。

え



草を乾燥させたものを食べ物です。号令に対して触れればご褒美としてあげます。



耳(号令:ミミ)

ターゲット棒を指示した耳の前方に出します。採血や耳の汚れを取る時に使います。



鼻の上部(号令:モト)

ターゲット棒を鼻の根元部分に指します。ゾウの立つ位置を変える時や正面を向く時に使います。



左右の前足(号令:フット)

ターゲット棒を前足に指し、前足を上げさせます。前足の治療を含めたケアのために使います。



このトレーニングは毎日、健康管理中でも、体重が3~4トンにもなるゾウでも、蹄(ひづめ)のトラブルも少なくおこなっており、安心して長生きできるように、このトレーニングに努めています。

またイベント時には、展示場前で来場者の皆様へ、このトレーニングの必要性などを解説しています。

トレーニング中

物)に触らせるトレーニング方法です。
正確に行うことができ、さらには飼育員

さ



せて固めた
て反応でき
として与え

クリッカー



押すと「カチャ」と音が
鳴る道具で、良い反応が
できた場合、ゾウに音で
“OK”を知らせます。

尾(号令:テイル)

ターゲット棒を尾の上部に指し、尾を上げるようにします。
肛門から体温を測る場合に使います。(トレーニング中)



左右の腹(号令:ハラ)

ターゲット棒を腹側に指します。
側面全体を観察する時に使います。



左右の後ろ足(号令:ウシロ)

ターゲット棒を後ろ足に指し、後ろ足を上げさせます。
後ろ足の治療を含めたケアのために使います。



耳からの採血

ミミへの号令をかけ、血管に小さい針を刺して血を採ります。
(トレーニング中)

血液検査による病気の早期発見
やメスのホルモン
値を計り、性周期
の把握を行います。



足のケア

足への号令をかけ、足の洗浄や消毒を行います。
蹄に亀裂が生じている場合は、進行しないように蹄を削ります。



理を目的として行われています。その
ゾウの場合、足にかかる負担は大き
ありません。そこで、当園ではゾウが
トレーニングを利用して蹄などのケア

来園者にトレーニングを公開し、その

(飼育第2係 水上恭男)



動物公園で活躍して下さっているボランティアさんに、飼育係が直撃インタビュー！ 第4回は2008年から活動して下さっている、久松 康伸(ひさまつ やすのぶ)さんです。

———よろしくお願ひします。まず、ボランティア活動を始めたきっかけを教えてください。

「退職した後、市政だよりを読んでボランティアのことを知りました。緑が多い素晴らしい環境で活動することは、自分の健康増進につながると考えました。実は、最初は動物にそれほど興味があったわけではありませんでした。」

———主な活動内容を教えてください。

「私の活動内容は園内ガイドというもので、園内を歩いてお客様の質問に答えながら、写真撮影のお手伝いをしたりしています。動物の羽根や糞の標本を持って歩くときもあります。待ちの姿勢ではなく、積極的にお客様に話しかけるようにしています。」

———ボランティア活動を長く続ける秘訣を教えてください。

「子どもたちの興味や好奇心、驚きや笑顔に出会うと、やりがいに繋がります。自分が動物公園で楽しんで得た知識をお客様と共有すると、お客様も喜んで下さり、大きな喜びにつながります。自分の喜びのために継続していると言ってもよいと思います。」

———最後に、紙面を読んで新規ボランティアになろうかなと思っている方へのPRをお願いします。

「自分にとっての楽しみや喜びは、自分で見つけ、自分のために活動することです。まずは3ヶ月やってみて下さい。自分に合った活動方法を見つけると、楽しく長く続く活動になります。また、飼育係の人と仲良くなると、もっと楽しくなると思いますよ。」 (動物診療係 宮崎沙都)



「ボランティア募集します!」次回は、4月募集予定 詳細は、ホームページ・市政だよりでお知らせいたします。
問い合わせ先 動物公園管理課 電話 043-252-7566



来園者の声

Q1 ブローワーでの落ち葉掃除、騒音と排気が動物にかわいそうです。また、ハズバンドリートレーニングを早く取り組んで、健康管理に努めて下さい。(千葉市)

A1 今一度、作業の改善を図っていきます。ハズバンドリートレーニングは、既に何種かの動物では行っています。今後さらに多くの種の動物に導入していきたいと考えています。

Q2 この動物園内の動物たちの動物図鑑が欲しいと思い、案内所で伺いましたが、ないとのこと。ぜひ、作成して販売していただきたいと思います。(船橋市50代女性)

A2 「ちばZOOの仲間たち」という動物ガイドブックを作成しています。動物科学館総合案内カウンターで、ご覧になりたい方に差し上げています。

干支のおはなし イベントレポート



新年が開けた2日(木)と3日(金)に、「干支のおはなし」を動物科学館レクチャールームで行いました。今年の干支は「ウマ」ということで、当園で見ることのできるウマたちを紹介しました。グレビーシマウマ、ロバ、モウコノウマ、ウマ(ペルシュロン、北海道和種、シェトランドポニー)です。シマウマは実はロバに近い仲間であることや、モウコノウマが一時は野生下で絶滅しましたが、動物園で飼育されていた個体を増やして、野生復帰させたこと、また、現代の家畜ウマの原種であるたいへん貴重なウマであることも交えながら、「おはなし」しました。参加者は両日ともに70名ほどが集まってくださり、いっしょにロバの鳴きまねをしたりして楽しみました。(子ども動物園係 高橋宏之)

イベントカレンダー

詳細はホームページをご覧ください。

●飼育係によるお楽しみDAY

13:30 ~ 14:15

4月5日(土) サル比較舎

5月3日(土) 子ども牧場

6月7日(土) 飼料センター

バックヤード見学や、間近での動物たちの観察



●紙芝居会

11:30 ~、13:30 ~

4月20日(日)・5月25日(日)

動物にちなんだ紙芝居会



●開園記念無料開放DAY

4月28日(月)



●飼育担当者の“ちょっといい話”

13:10 ~ 13:30

4月13日(日) アジアゾウ

5月11日(日) オオカンガルー

飼育担当者だから話せる動物たちの裏話



●バードクラフト教室

10:00 ~ 15:00

5月10日(土)・5月11日(日)

バードマグネットの色付け体験
料金 300円



●ゆかいな森の音楽会

11:00 ~

5月18日(日)

動物に関する音楽会



ちばZOO diary

11月24日 市立千葉高校SSH

Chiba Cross School
Science
Festival



12月8日 ちば生きもの科学クラブ

12月14日 人工哺育のナマケモノ公開

ヤエちゃん(ベルシュロン)と記念撮影

12月15日 ヤエちゃん(ベルシュロン)と記念撮影

12月21日 飼育係によるお楽しみDAY

(X'masスペシャル)

(ハシビロコウ・コツメカワウソ・トナカイ)

動物総選挙

第1位表彰式

(ハシビロコウ)



風太君からのクリスマスプレゼント

12月22日 ヤエちゃん(ベルシュロン)と記念撮影

12月26日 風太写真展

~1月5日 (千葉三越8階催事場)

1月2日 干支のおはなし

お年玉プレゼント

人工哺育のナマケモノ公開

1月3日 干支のおはなし

お年玉プレゼント

人工哺育のナマケモノ公開

1月6日 飼育担当者の“ちょっといい話”

(モウコノウマ)

1月11日 飼育担当者の“ちょっといい話”

特別版

(グレイビーシマウマ)



1月18日 市立千葉高校SSH発表会

飼育係によるお楽しみDAY

(カリフォルニアアシカ)

1月26日 バードウォッチング

2月2日 飼育担当者の“ちょっといい話”

(トキ舎)

2月8日~16日 風太写真展(アリオ蘇我)

2月11日 エミュアクセサリープレゼント

2月15日 飼育係によるお楽しみDAY

(レッサーパンダ)

2月23日 バードウォッチング

3月2日 飼育担当者の“ちょっといい話”

(チンパンジー)

こんにちは赤ちゃん

・オオカンガルー

1月26日生まれ 1頭



オオカンガルー

安らかに…

・アフリカヘラサギ

1996年 6月19日(来園)~2014年 1月11日

・カリフォルニアアシカ(ドン)

1986年 6月 4日(来園)~2014年 1月30日

・コウラウン

2005年 7月24日(繁殖)~2014年 2月13日



カリフォルニア
アシカ(ドン)

元気でね

・マガモ

2014年 1月31日(移動：福岡市動植物園)

動物園サポーターの募集

千葉市動物公園を応援していただける個人、法人サポーターを募集しています。
寄附金は個人1口1,000円、法人1口10,000円で何口でも寄附いただけます。

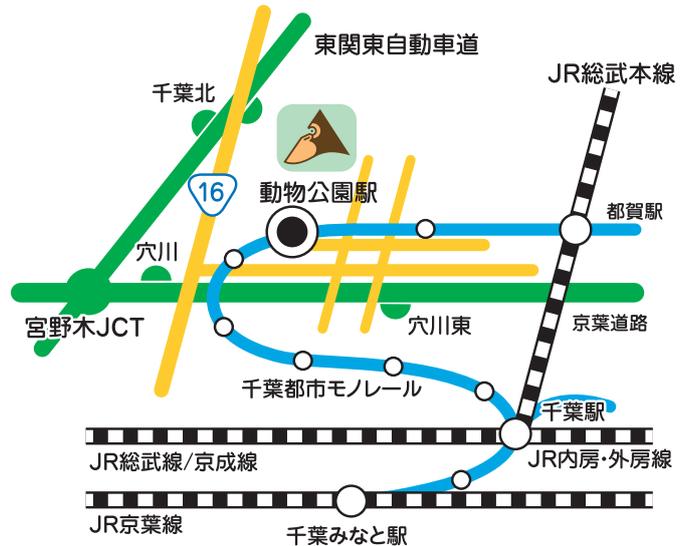
特典

- 1 当園オリジナルグッズ
 - 2 招待券プレゼント
 - 3 サポーターズデーへのご招待
 - 4 動物公園に関する情報のご提供
- 個人サポーターは、1口、3口、5口ごとに特典が異なります。

問い合わせ先 管理課 電話043-252-7566

アクセス

- 開園時間
午前9時30分から午後4時30分まで
(ただし、入園は午後4時まで)
- 休園日
毎週月曜日(月曜日が休日にあたる時は翌日)
年末年始(12月29日から1月1日)
- 入園料
大人500円、小・中学生100円
・小学生未満、千葉市在住65歳以上の方は無料
・団体は有料人数30名以上で2割引き
- 駐車場
普通車500円、大型2,100円
(閉門時間 午後5時)
- <http://www.city.chiba.jp/zoo/>



お車の場合

- ・東京方面からは 京葉道路穴川I.Cより市街方面に約3km
- ・市原方面からは 京葉道路穴川東I.Cより市街方面に2km
- ・成田方面からは 東関東自動車道路千葉北I.Cより千葉方面へ約7km

モノレールの場合

- ・千葉都市モノレール動物公園駅直結
(乗車時間)・千葉駅より約12分
・都賀駅より約5分
・千葉みなと駅より約16分

お得な年間パスポート 大人 2,500円、小・中学生 500円



ツイッターのお知らせ

飼育係の撮影した写真やリアルタイムな園内の情報などなど
千葉市動物公園公式Twitterアカウント
@Chibazoo
フォロワー数現在7,800(2月末現在)



2014年2月末現在の飼育数

哺乳類	62種	566点
鳥類	69種	284点
爬虫類	6種	32点
両生類	1種	2点
魚類	1種	1点
総計	139種	885点

どうぶつこうえんニュース第89号 平成26年3月15日発行

編集・発行 千葉市動物公園 ちばZOO 編集委員会

〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 Tel 043-252-1111(代) Fax 043-255-7116

●動物取扱業名称/千葉市動物公園 園長 朝生智明 ●所在地/千葉市若葉区源町280 ●種別/展示・貸出・保管・販売

●登録番号/展示 第50015号・貸出 第30016号・保管 第20200号・販売 第10205号

●登録年月日/展示・H24.7.30 貸出・保管・販売 H23.11.7 ●有効期間の末日/展示 H29.7.29 貸出・保管・販売 H28.11.6 ●動物取扱責任者/高木淳子